

## 第8回地方消費者委員会（札幌）実施結果

平成25年5月  
消費者委員会事務局

- 開催日時：平成25年5月25日（土）13：30～16：30
- 開催場所：北海道庁赤れんが庁舎2階2号会議室
- 主催：内閣府消費者委員会、一般社団法人 北海道消費者協会、  
適格消費者団体・NPO法人 消費者支援ネット北海道
- 後援：北海道、札幌市、一般社団法人 札幌消費者協会
- 参加人数：88名

### ○内容のポイント

#### <プログラム>

#### 公開シンポジウム「製品安全について」

1. 基調講演「消費者委員会の活動と製品安全」  
講師：河上正二 消費者委員会委員長（東京大学教授）
2. 北海道における消費者行政の現状と取組  
報告者：近藤 隆 北海道環境生活部くらし安全局消費者安全課長
3. 講演「消費者事故未然防止のための情報周知徹底に向けた対応策についての建議」  
講師：夏目智子 消費者委員会委員（全国地域婦人団体連絡協議会事務局長）
4. 消費者庁における製品安全の取組  
報告者：宗林さおり 消費者庁消費者安全課長
5. パネルディスカッション  
パネリスト：梅田裕幸 北海道立消費生活センター商品テスト部長  
宗林さおり 消費者庁消費者安全課長  
夏目智子 消費者委員会委員  
長谷川公彦 公益社団法人消費者関連専門家会議専務理事  
道尻 豊 適格消費者団体・NPO法人消費者支援ネット北海道専務理事  
コーディネーター：原 早苗 消費者委員会事務局長
6. 総括コメント 消費者委員会委員長 河上正二

## ○パネルディスカッションの概要

- テーマ：①製品の事故情報がうまく集約されているか  
②事故の分析ができているか  
③消費者に情報が伝えられているか  
を軸に議論を行った。

### <パネリストからの主なコメント>

- 情報収集は難しいのが現状である。例えば、火災になれば消防庁から一報が必ず入るが、入ってきにくい情報もある。
- 消費者事故等の中でも重大事故（死亡や30日以上の治療を要するなど被害が重大であった事案）に該当しない事案だったために、結果、報告や公表が遅れ、被害が拡大する製品事故がある。
- 茶のしずく石鹼の案件は、実はPIONEERには掲載されなかった。何人もの患者さんを診た病院の先生が、患者にアンケートをとり分析したところ、共通項が石鹼だったことから発覚した。医療機関ネットワークからしか情報が入ってこない事案も多く、重大事案が含まれることもあるため、今後、有効に活用し情報収集する必要がある。
- 分析については、我々は、X線調査や事故製品で再現させたりしている。
- NITEへの依頼をする場合は、送付するのは、依頼者側（消費者）の負担なので、できれば改善してほしい。
- 消費者も商品の特性をきちんと理解して使用するべきだと思う。そして、使っていて少しおかしいと思ったらメーカーに問合せ等してはどうか。
- 健全な事業者は、「安全な製品をつくる」ことが大前提でやっている。
- 製品における絶対安全はないため、事業者も常に製品安全を求める努力が必要であるし、同時に、消費者自身のリスクに関する予知能力を高めるための消費者教育が重要である。
- 消費者庁、都道府県、地方自治体の連携を高める工夫が必要である。
- 消費者にリコール製品に関する情報等を確実に届けるために、消費者庁、事業者、販売店、通販等のアクセスポイントから、積極的な情報が提供されることも重要である。

### <フロアからの質問・意見>

- 消費者庁や消費者委員会の活動を聞いて、横のつながりができていると感じた。国、道、市町村、消費者ともっと連携していくことが大事。
- 消費者団体は、女性や年配者が多いので、若い人に、例えば高校生等に教育を行い、消費者行政に興味を持ってもらうことも必要。
- 経済産業省が作成したこのパンフレットは、学生への教育資料としては良く、生徒の反応も良い。
- 商品購入の時、商品の良い特徴だけ説明するのではなく、こんなリスクも発生しているときちんと伝えるべきではないかと思う。ターゲティング広告だけではなく、ターゲティングリスク広告も必要ではないか。
- リコール情報に関するホームページは、件数がたくさんあるためあまり見ない。リスクコミュニケーションは大事なので、もっと分かりやすくするための工夫を考えてほしい。

### <河上委員長の総括コメント>

- どんなものでも100%安全なものはないと思う。やはり経年劣化はある。人間も年をとるにつれ、身体のどこかが悪くなるころは出てくるので、メンテナンスが必要。
- 消費者と事業者との双方向のやり取りが必要になってくる。
- 事故情報の収集という視点で医療機関の方がたの存在、そして消費者教育では学校の先生方の存在があるということに気付いた。もっと連携をしていきたい。

※また、河上委員長は、5月24日に、北海道の山谷吉宏副知事及び札幌市の上田文雄市長を表敬訪問した。

(以上)